

<政府補正予算の自治体にかかわる内容について>

地方自治体関係分と3ワクチンの助成の概要を紹介します。

事業項目	億円
雇用・人材 貧困・困窮者生活支援対策	100.00
同 重点分野雇用創造事業	1,000.00
同 緊急人材育成支援事業	1,000.00
同 成長分野等人材育成支援事業	500.00
同 新しい公共支援事業	87.50
子育て 安心子ども基金関係	1,000.00
同 妊婦健康診査関係	111.59
医療 地域医療再生対策	2,100.00
同 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進	1,085.36
同 高齢者医療円滑運営対策	2,806.98
介護等 介護支援体制緊急整備	302.12

事業項目	億円
同 地域支え合い体制づくり	200.00
福祉 生活困窮者対策	500.00
同 障害者自立支援	39.27
同 自殺・うつ病・DV 被害者支援	18.05
同 生活保護等生活支援	2,281.59
地域活性化 学校施設の耐震化等	1,250.09
同 耐震化等学校施設以外等	1,642.32
同 地域活性化交付金・きめ細かな	2,500.00
同 地域活性化交付金・住民生活に光	1,000.00
同 市町村合併体制整備補助金	9.84
同 地方交付税の増額(今年度交付分)	3,000.00
合計	22,534.71

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金(仮称)について

〔事業概要〕1、基金の対象疾病・ワクチン：子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン

2、基金：都道府県に設置し、市町村の事業に対し助成する。3、負担割合：国 1/2、市町村 1/2 4、基金の期間：平成 23 年度末まで 5、その他：助成対象事業には民間保険への加入等を要件とする。

〔子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業の詳細〕

〔予算の内訳〕

接種費用：ヒブワクチン 302 億円、肺炎球菌ワクチン 434 億円、子宮頸がんワクチン 344 億円。

事務費用：都道府県 1・5 億円、市町村 3・5 億円。
合計：1,085 億円

【ヒブワクチン】

対象年齢：0～4 歳(0 歳から 4 回、1 歳から 1 回)
接種率：0 歳、1 歳からはじめる人 100%、2 歳、3 歳、4 歳からはじめる人 80%。初年度：50%の自治体で実施と仮定。23 年度が 100%で実施(人口ベースで積算)。初年度事業費：45 億円、23 年度 560 億円。補助単価：8,857 円(1 回あたり)。

【肺炎球菌ワクチン】

対象年齢：0～4 歳(0 歳からはじめる人 4 回、1 歳から 2 回、2 歳から 1 回)。接種率：0 歳、1 歳から始める人 100%、2 歳、3 歳、4 歳から始める人 80%。ヒブワクチンと同様。初年度事業費：70 億円、23 年度 800 億円。補助単価：11,267 円(1 回あたり)。

【子宮頸がんワクチン】

対象年齢：中 1～高 1 まで(3 回接種)。接種率：85%。上記 2 ワクチンと同様。初年度事業費：110 億円、23 年度 580 億円。補助単価：11,267 円(1 回あたり)。